



発行 城陽市
編集 企画調整課

第4次城陽市総合計画を策定しています

現在、市では、平成19年から平成28年を計画期間とする第3次総合計画に基づいて、さまざまな事業や施策の推進を図っています。しかし、この間、少子高齢化の進行やリーマンショック後の景気低迷など、社会経済情勢は厳しさを増す一方で、新名神高速道路の整備やJR奈良線の複線化、東部丘陵地の土地利用の検討など、都市構造が大きく変化しようとしています。このような状況を踏まえて、将来的な視点と展望に立った新たなまちづくりの方向性を定めるため、第4次総合計画の策定に着手しました。今回は今後のまちづくりを市民のみなさんと共に考えていくため、これまで取り組んできた主な内容についてお知らせします。

総合計画とは

総合計画は、市のまちづくりの基本となる計画であり、市の将来像や、将来像の実現に向けた基本的な方針や施策を示したものです。現在策定中の第4次総合計画の目標年次は平成38年となります。

新たな計画を策定するにあたり、現行の第3次総合計画について取組状況の総括を行いました。その主な内容は次のとおりです。

第3次総合計画の取組状況

全体の総括

第3次総合計画における8施策、45の分野別展望ごとに、市民アンケートや平成26年度末までの取り組み実績などに基づいて総括を行いました(表1)。

計画期間においては、税収の減少や社会保障費の増大による財源の不足、団塊の世代の大量退職による担い手の不足、地域の繋がりの

1. 安心・安全のまちづくり

希薄化など、少子高齢化の進行に伴う諸問題が顕在化した期間であり、45の分野別展望についても多くの分野で基本方針(目標)の達成に遅れが生じています。次期計画の策定に向けて、目標や取り組みの見直しが必要となつていきます。

「消防・救急体制の充実したまちをつくる」(目標達成状況)

「目録達成状況」については、車両や資機材、消防水利の整備により消防体制の充実を図りました。

「災害に強いまちをつくる」(目標達成状況)

「災害に強いまちをつくる」については、自主防災組織への支援や福祉避難所の協定締結など、地域の防災体制の確立に努めました。

「犯罪のないまちをつくる」(目標達成状況)

「犯罪のないまちをつくる」については、平成24年度から駅前広場などへの防犯カメラの設置を順次進めるとともに、防犯灯(街灯)をLED街灯

2. 快適なまちづくり

「城陽らしいまちなみを創造し保全する」については、平成20年度に都市計画マスタープランを策定するとともに、屋外広告物の掲出に係る許可・更新事務などを実施し、良好な市街地環境の保全を図りました。

「みどり豊かなまちを実現する」(目標達成状況)

「みどり豊かなまちを実現する」については、木津川運動公園の整備要望および南区域の一部供用開始や市民協働による都市緑化事業の実施などにより、みどり豊かなまちの実現に努めました。

「新たな都市空間の形成を図る」(目標達成状況)

「新たな都市空間の形成を図る」については、山砂利採取地の修復指導を進めるとともに、新名神高速道路の整備をはじめとした土地利用の検討・実施を進めました。

「良好な住環境をつくる」(目標達成状況)

「良好な住環境をつくる」については、道路の整備をはじめとした土地利用の検討・実施を進めました。

「交通安全対策を推進する」(目標達成状況)

「交通安全対策を推進する」については、市計画道路や生活道路の整備、維持管理により、円滑な移動の確保や安全で快適な道づくりを進めました。

が進められるよう開発指導を行うとともに、住民の転入促進、流出抑制を目的として、空き家バンク制度を創設しました。

「安全な水道水を安定供給する」(目標達成状況)

「安全な水道水を安定供給する」については、水道施設の計画的な更新を進めるとともに、城陽市水道ビジョンや水道施設整備計画を策定し、健全な経営を推進しました。

「下水道の整備を進め生活環境の向上を図る」(目標達成状況)

「下水道の整備を進め生活環境の向上を図る」については、平成20年度に市内のほぼ全域の整備を終えるとともに、公共下水道未接続の一般世帯、集合住宅および事業所に對し個別訪問や啓発文書の郵送による普及啓発を実施しました。

「墓地の確保を検討する」(目標達成状況)

「墓地の確保を検討する」については、市外の火葬場利用に対する補助を継続して実施しました。今後は、墓地の確保に向けた協議が必要です。

「駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する」(目標達成状況)

「駅周辺整備を推進し公共交通対策を充実する」については、JR奈良線の複線化促進では第二期事業着手、バス路線ではプラムイン城陽長池線の開設などの取り組みを進めました。

「安全で快適な道づくりを推進する」(目標達成状況)

「安全で快適な道づくりを推進する」については、市計画道路や生活道路の整備、維持管理により、円滑な移動の確保や安全で快適な道づくりを進めました。

「交通安全対策を推進する」(目標達成状況)

「交通安全対策を推進する」については、市計画道路や生活道路の整備、維持管理により、円滑な移動の確保や安全で快適な道づくりを進めました。

「進める」(△)については、道路や交通安全施設の整備、各種交通安全啓発などの取り組みにより、交通事故の防止などに努めました。

「浸水被害の軽減と環境に優しい川づくりを推進する」(目標達成状況)

「浸水被害の軽減と環境に優しい川づくりを推進する」については、計画的に河川整備や維持管理を進めることにより、浸水被害の軽減や市民に親しまれる河川づくりに努めました。

3. 健康で幸せなまちづくり

「市民の健康づくりを推進する」(目標達成状況)については、健康診査や予防接種において個別通知を行い、受診率の向上に努めました。

「地域でもっと支えあう仕組みを充実する」(目標達成状況)

「地域でもっと支えあう仕組みを充実する」については、福祉活動団体などへの補助を行うとともに、府・市・事業者の間で「山城ふるさとを守る活動」に関する協定を締結し、地域で共に支え合う体制の強化に努めました。

「高齢者福祉を充実する」(目標達成状況)

「高齢者福祉を充実する」については、新たに介護支援ボランティア制度の実施に向けた準備を行い、健康で生きがいを持つ暮らしを進めようとする取り組みを進めました。

「子育てしやすい環境づくりを推進する」(目標達成状況)

「子育てしやすい環境づくりを推進する」については、子育て・多世代交流施設として地域子育て支援センター ひなたぼっこを整備するなど、子

「生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める」(目標達成状況)

「生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める」については、窓口相談員、就労支援員、多重債務相談員などを配置し、相談・支援などを実施しました。

「保険・医療を充実する」(目標達成状況)

「保険・医療を充実する」については、人間ドックの補助事業の実施や検診助成を実施し、市民の健康

育てしやすい環境づくりを推進しました。

「障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる」(目標達成状況)

「障がいのある人が自立した生活を営む環境をつくる」については、障がいのある人が暮らしやすい地域社会の実現を目指し、平成23年度に城陽市障がい者自立支援協議会を設置し、市民講座や障がい者施設見学会など、障がいの理解に向けた取り組みを進めました。

「生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める」(目標達成状況)

「生活支援を必要とする市民が自立するための支援に努める」については、窓口相談員、就労支援員、多重債務相談員などを配置し、相談・支援などを実施しました。

「学校教育を充実する」(目標達成状況)

「学校教育を充実する」については、学力の向上や安心安全な教育環境の確保、障がいのある児童生徒への支援など、多様な取り組みを進めました。

「社会教育を充実する」(目標達成状況)

「社会教育を充実する」については、社会教育においては活

増進に努めました。

4. 心がふれあうまちづくり

「生涯学習を推進する」(目標達成状況)については、生涯学習情報紙の発行やインターネットを活用した情報発信など、市民の生涯学習活動の場を充実させました。

「幼稚園教育を充実する」(目標達成状況)

「幼稚園教育を充実する」については、公立幼稚園における預かり保育の拡大や、私立幼稚園への助成など、就学前教育への支援に努めました。

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」(目標達成状況)

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」については、芝ヶ原古墳の整備を完了するとともに、歴史民俗資料館において、特別展やふれあい教室を開催するなど、文化財の保存・活用

「文化芸術を振興する」(目標達成状況)

「文化芸術を振興する」については、文化芸術推進計画の進捗管理を行うとともに、文化芸術活動に取り組んでいる市民に対する表彰制度を創設するなど、文化芸術の振興を図りました。

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」(目標達成状況)

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」については、芝ヶ原古墳の整備を完了するとともに、歴史民俗資料館において、特別展やふれあい教室を開催するなど、文化財の保存・活用

「文化芸術を振興する」(目標達成状況)

「文化芸術を振興する」については、文化芸術推進計画の進捗管理を行うとともに、文化芸術活動に取り組んでいる市民に対する表彰制度を創設するなど、文化芸術の振興を図りました。

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」(目標達成状況)

「文化財・郷土の歴史の保存・継承を推進する」については、芝ヶ原古墳の整備を完了するとともに、歴史民俗資料館において、特別展やふれあい教室を開催するなど、文化財の保存・活用

＜表1＞【第3次総合計画の目標達成状況(4段階)】

施策	分野別展望数	目標達成状況			
		◎	○	△	■
1. 安心・安全のまちづくり	3	1	1	1	0
2. 快適なまちづくり	11	1	2	7	1
3. 健康で幸せなまちづくり	7	0	6	1	0
4. 心がふれあうまちづくり	8	1	5	2	0
5. 活力に満ちたまちづくり	4	0	0	3	1
6. 環境にやさしいまちづくり	3	2	1	0	0
7. 市民と進めるまちづくり	4	0	1	3	0
8. 信頼される市政運営	5	0	2	3	0
計	45	5	18	20	2
	100.0%	11.1%	40.0%	44.4%	4.4%

＜目標達成状況＞◎：目標達成に向け順調
○：やや遅れているが、おおむね順調
△：遅れが生じており、さらなる取り組みが必要
■：このままでは目標達成が難しい

「スポーツ・レクリエーションを振興する」(○)については、体育関係団体への補助や東城陽ふれあいスポーツ広場の整備、総合運動公園の設備改修などを通じて、市民のスポーツ・レクリエーション活動の支援を行いました。

「健全な青少年を育成する」(◎)については、各種催事の開催や、青少年健全育成市民会議の活動を通じた学校・家庭・地域の連携強化に努めました。

5. 活力に満ちたまちづくり

「農業の振興を図る」(△)については、圃場整備による優良農地の集積や特産品のPRなど農業振興に努めるとともに、直売所の運営・周知など、生産者と消費者をつなぐ取り組みを推進しました。

「商工業の振興を図る」(■)については、既存の企業や商店街、地場産業に対する支援に加え、新市街地整備などによる新規事業の立ち上げに取り組み、市全体の商工業の振興に努めました。今後は、新名神高速道路の供用開始や新市街地、白坂テクノパークなどの企業誘致にあわせた適切な商工業支援策が必要です。

「観光の振興を図る」(△)については、観光振興計画や梅の郷青谷整備計画を策定するとともに、観光協会

などの関係団体と協働で観光資源・地域資源の活用を図り、観光施策の推進に努めました。「消費者保護を推進する」(△)については、各種講座の開催や相談体制の整備などを進めました。

6. 環境にやさしいまちづくり

「環境を守り育てる」(○)については、各種環境施策の計画的な実施などにより、環境保全に努めました。「持続可能な資源循環型社会の構築を推進する」(◎)については、ごみ袋の透明・白色半透明化、プラマーカー製品の分別収集や廃蛍光管の拠点回収などによる施策や各種啓発活動などを進め、ごみの減量・再利用化に努めました。

「地下水を保全する」(◎)については、市内の民間井戸などについて毎年度水質調査を実施するとともに、地下水保全対策委員会を開催し、採取量を把握することにより、地下水の保全を図りました。

7. 市民と進めるまちづくり

「市民参加と協働を推進する」(△)については、平成19年度に市民活動支援センターを開設して以来、講座や相談などの支援を継続して実施し、市内の活動団体の育成などに努めました。

「個人情報保護制度

「男女共同参画社会の実現を図る」(△)については、市民会議の開催、各種講座やイベントなどによる啓発など、「さんさんプラン」に基づく施策により、男女共同参画社会の実現に努めました。「人権と平和を尊重したまちづくりを推進する」(○)については、人権問題に対する取り組みや平和都市の推進に向けた取り組みを進め、人権文化や平和社会の構築に努めました。

「国際交流を推進する」(△)については、姉妹都市(大韓民国慶山市、アメリカ合衆国バンクーバー市)を中心に、行政間の交流や国際交流協会による市民参加の交流事業などにより、国際理解を深められるよう努めました。また、日本語教室の実施や外国語表記の生活ガイドの作成など、市内在住外国人への支援も実施しました。

「市民への情報発信と市民ニーズへの対応を図る」(△)については、市政への理解に繋がるよう広報活動の内容を適宜見直すとともに、多様なニーズを市政に反映させるため、平成26年度から、新たに未来まちづくり会議を開催するなど、広聴活動の維持および充実

8. 信頼される市政運営

「まちづくり市民アンケートの結果

「個人情報保護制度

と情報公開の適正な運用を図る」(○)については、情報公開制度の周知および職員向けの研修などに取り組み、情報公開の推進、個人情報保護の適切な取り扱いに努めました。「適正で効率的・効果的な行政運営を推進する」(○)については、職員数の削減の他、電算システムの利用や外部委託の実施などにより、業務の効率化や質的向上に努めました。「持続可能な財政運営を実現する」(△)については、経常的な支出の抑制・収入の確保を図るため、より利率の低い民間資金などへの借換えによる公債費の抑制や、コンビニ収納の開始による市税収納機会の拡大などの取り組みを進めました。

「戦略的に行政経営を推進する」(△)については、社会情勢の変化に柔軟に対応し、計画的な行政運営を行うため、生き生き改革プランなど進行管理を意識した取り組みを推進しました。

「まちづくり市民アンケートの結果

「まちづくり市民アンケートの結果

「個人情報保護制度

いただいた人には、お礼申し上げます。城陽市の住みよさについては、「どちらかといえば住みよい」が49.7割と、8割以上が住みよさを感じています。なお、前回の調査と比較すると「住みよい」が4.5ポイント増加しています(図1)。

今後の定住意向については、「現在のところ」にずっと住みつづけたい」が66.0割であり、約7割の人が定住意向を持っています。なお、前回の調査と比較すると「現在のところ」にずっと住みつづけたい」が4.8ポイント増加しています(図2)。

若年層の定住化に向けて取り組む必要があることは、「女性が働ける環境づくりや子育て支援環境の充実」が38.3割で最も多く、次いで「地場産業や新たな産業振興による雇用の受け皿づくり、ベンチャー企業などの起業支援」が31.3割、「通勤や通学に便利な交通体系の充実」が26.2割となつています(図3)。

「子育てについて

「子育てについて

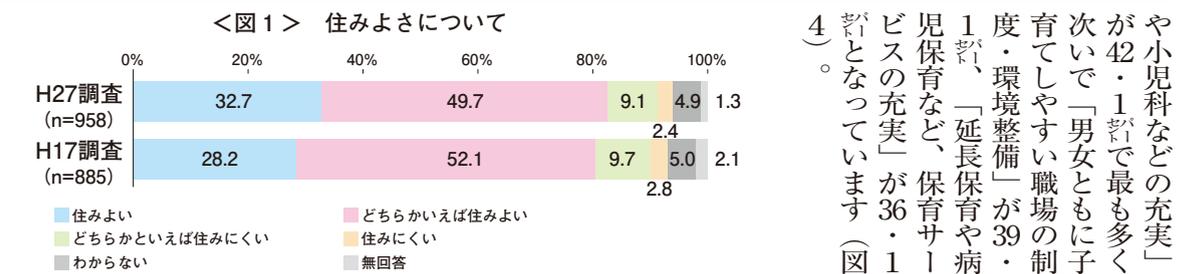
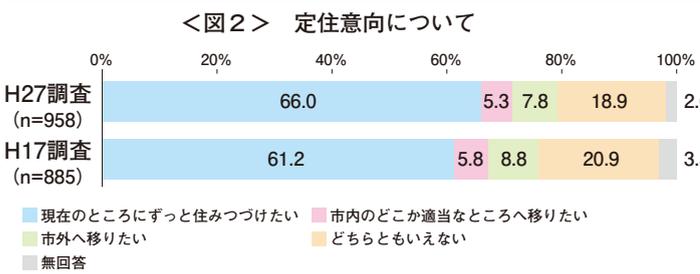
や小児科などの充実」が42.1割で最も多く、次いで「男女ともに子育てしやすい職場の制度・環境整備」が39.1割、「延長保育や病児保育など、保育サービスの充実」が36.1割となつています(図4)。

「子育てについて

「子育てについて

「子育てについて

「子育てについて



今回ご紹介しました「第3次城陽市総合計画総括報告書」および「まちづくり市民アンケート調査結果報告書」については、市ホームページや行政情報資料コーナーで公開しています。あわせてご覧ください。